

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公開番号】特開2001-52011(P2001-52011A)

【公開日】平成13年2月23日(2001.2.23)

【出願番号】特願平11-224240

【国際特許分類第7版】

G 06 F 17/30

【F I】

G 06 F 15/40 3 7 0 B

G 06 F 15/401 3 1 0 A

G 06 F 15/403 3 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月9日(2004.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記複数の画像データと各画像データの特徴量を対応づけて格納する格納手段を更に備え、

前記格納手段に格納される特徴量が不要領域を除去した画像について算出されたものである

ことを特徴とする請求項1に記載の画像検索方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

前記検索工程は、前記算出工程で算出された特徴量と前記格納手段に格納された特徴量に基づいて画像間距離を求め、求められた画像間距離に基づいて類似画像を抽出する

ことを特徴とする請求項7に記載の画像検索方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】

前記検索工程は、前記画像間距離の近いものから順に所定個数の画像を類似画像として抽出する

ことを特徴とする請求項8に記載の画像検索方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 18】

前記複数の画像データと各画像データの特徴量を対応づけて格納する格納手段を更に備え、

前記格納手段に格納される特徴量が不要領域を除去した画像について算出されたものである

ことを特徴とする請求項12に記載の画像検索装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項19】

前記検索手段は、前記算出手段で算出された特徴量と前記格納手段に格納された特徴量に基づいて画像間距離を求め、求められた画像間距離に基づいて類似画像を抽出する

ことを特徴とする請求項18に記載の画像検索装置。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項20】

前記検索手段は、前記画像間距離の近いものから順に所定個数の画像を類似画像として抽出する

ことを特徴とする請求項19に記載の画像検索装置。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

図7は、本実施形態による画像間距離の計算手順を説明するフローチャートである。図7において、ステップS71で変数m i n、nを値0で、Lを十分大きな値で初期化し、ステップS72で変数i、S(n)を値0で初期化する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】**【図1】**

本実施形態による画像検索処理を実現するコンピュータシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】

本実施形態による画像検索処理の大まかな流れを示すフローチャートである。

【図3】

ステップS21において表示装置103に表示される操作画面例を示す図である。

【図4】

不要な枠部分を除去する様子を示す図である。

【図5】

本実施形態による特徴量算出処理を説明するフローチャートである。

【図6】

本実施形態による領域毎のR, G, B値の平均値算出方法を説明するフロー チャートである。

【図7】

本実施形態による画像間距離の計算手順を説明するフロー チャートである。

【図8】

本実施形態による類似画像の選択手順を説明するフロー チャートである。

【図9】

ステップS24において表示装置103に表示される操作画面例を示す図である。